

単元名 川と災害

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 川の増水などが人々の生活に与える影響や災害から身を守る対策を理解することができる。
 (2) 川の増水などが人々の生活に与える影響や災害から身を守る対策について、調べた結果を基に自分の考えを表現することができる。
 (3) 川による災害について、進んで関わりながら問題を解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

05050204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 川による災害とその対策について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 川の水量が増えたときの、流れる水の働きを振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・水の流れが速くなる。 ・地面を侵食したり、石や土を運搬したりする働きが大きくなる。 ・私たちの生活への影響について調べたい。 ★ 川による災害とその対策について調べよう。 ○ 川の水量が増すことでどんな災害が起こるのかについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・道路や橋が壊される。 ・水が濁って、川幅が広がる。 ・家の浸水。 ・畑の作物が水で流され、収穫不可能になる。 ○ 川による災害を防ぐ取り組みについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ダム ・砂防堰堤 ・堤防 ・ブロック ・遊水池 ・流路工（工事） ・道路下にあるトンネル ・ハザードマップや避難場所などの情報 など ○ 自分にできそうなことや、生活する中で気を付けたいことなどについて、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・川のことをよく理解し、生活することが大切。 ・避難場所を確認しておきたい。 ○ 単元のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「確かめ」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「流れる水と土地」の単元と関連付けて、単元の学習課題をつかませる。 ・教科書P. 140～141の写真や生活経験、教師が準備した写真やニュースの映像などを基に考えさせる。 ・土地の様子が大きく変化し、私たちの生活に大きな影響を与えることを確認する。 ・川の災害を防ぐ取り組みと、それらの効果について調べさせる。 ・教科書P. 142～146やインターネットの資料、地域の防災マップなどを活用させるとよい。 ・災害を防ぐためには、川の働きをよく知ることが大切だということにも気付かせる。 ・調べたことを発表させ、学級全体で共有するとよい。 ・自分の生活と関係付けながら考えさせる。 ・「流れる水と土地」の単元から本時までの振り返りをまとめて行う。 【評】 川による災害や対策について調べたり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

<関連>

- ・第4学年「雨水と地面」
- ・第6学年「土地のつくり」